

主催 産経ジュニア書道コンクール実行委員会 産経国際書会 産経新聞社
 後援 文部科学省 東京都教育委員会 神奈川県教育委員会
 埼玉県 千葉県 フジテレビジョン ニッポン放送

【会期】平成28年8月12日(金)～20日(土)
 15日(月)は休館
 16日(火)は掛け替えのため閉室
 入場は閉館30分前
 【会場】東京都美術館 2階第2展示室
 東京都台東区上野公園8-36 ☎03-3823-6921
 【入場料】無料
 【贈賞式】8月17日(水)13時～ 東京都美術館講堂
 【席書会】8月17日(水)11時～ 同上

書に親しみ、そして楽しもう

産経ジュニア書道コンクールは全国の幼・小・中・高校生を対象に、書写、書道の普及・発展を目的に開催しています。この書道展を通じて青少年の皆さんが日本の伝統文化に触れ、親しむことで「健全な心」を養ってほしいと願っております。

平成元年(1989年)に、第1回全国書初め展として始まった「産経ジュニア書道コンクール」は、今回で27回目を迎えました。今年も東京都美術館での開催です。幼稚園生から高校生まで、日本全国さらには海外からご応募いただいた作品は今年初めて8000点の大台を突破しました。6月29日(水)に厳正な審査会を行い、文部科学大臣賞、産経新聞社賞から佳作、入選までが決定しました。この産経新聞ジュニア書道コンクール特別版では、A部門(中学生以下：半切1/4、高校生：半切受)、B部門(半紙)ごとの特別賞の作品、氏名、中学生以下の特選受賞者、高校生の秀逸賞受賞者の氏名を掲載します。平成29年のジュニア展の募集要項は11月にできる予定です。公式サイト(www.sankei-shokai.jp)、事務局(☎03-3275-8902)などでご確認のうえ、母ろってご参加下さい。

書道で明るく元気な優しい心を

2016産経ジュニア書道コンクール開催にあたっては、今年も全国の書写・書道を指導される先生方より力強いご支援をいただきました。産経新聞社もこのジュニア展関係者一同、心より御礼申し上げます。ご出品いただきました生徒の皆様、審査委員長 高橋照弘

様の作品は、いずれも力作ばかりです。近年の電子機器の著しい発達から、小中高生から書くことへの関心、興味を減らしている中で、本展覧会は毎年賞状に出品点数を増やし、今回は前年比9.6%増の8,486点の応募をいただきました。ジュニア展は、青少年の皆様が、日本の伝統文化に触れ親しみ「健全な心」を養うことができるように願って運営されています。本展覧会が広く理解賛同を得ていくことを実感しております。

中学生以下 A部門

文部科学大臣賞

田舎館村立田舎館中3年 田澤 宣尚 青森
 この度は、このような素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。初めは大変緊張していましたが、書道を通じて、本心から書きたいことを書きました。

至徳照天地
 中三 田澤 宣尚
 素直な筆は口を運ぶを生み、点画の細部までが書き、文をしっかりと組み立てている。スケールが大きく堂々とした作品です。(高橋照弘)

ジュニア大賞

鯖江市中央中3年 田邊 涼福 福井
 素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。この大会を通して、努力の事、感謝の事の大切さを学ぶ事ができました。今後は更に上を目指します。

希望玉実現
 中三 田邊 涼福
 充実した心で線の安定感を保ち、悠然と書いた作品は、見る人に安らぎを与え、何でも実現しよう、この線を大切に前進して下さい。(眞田泰志)

東京都知事賞

荒川区立第四中3年 松尾 たから(東京)
 この度は素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。習字は私にとって、大切な心を育てるかけがえのない大切なもので、賞をもらえ、とても嬉しく思います。

夏雲多奇峰
 中三 松尾 たから
 起筆、終筆に長く、書く文字のバランスも長く、力強くリズム感のある作品となりました。名前も大変良く書けております。(加藤泰志)

埼玉県知事賞

富士見市立みずほ小6年 高橋 穂乃 埼玉
 今回、とても素晴らしい賞を頂き、とてもうれしく思います。今、一文字一文字、集中して書きました。中学生になって書道を通じていきたいと思います。

夢の実現
 小六 高橋 穂乃
 伸びやかな筆、整った字形の見事な作品です。名前のバランスも素晴らしいです。継続は力なり、を信じてこれからも頑張ります。(生田佳恵)

書道は、小中学校では「筆順に從って字形を正しく書く」、高校では「表現と鑑賞の能力を養う」ことが目標となっています。小中学校生は、書写の約束事を通して、自分の力を十分に発揮しており、高校生は臨書を通して個性的で表現の多様性のある作品が多くなりました。本展の他の展覧会にはみられない特長は、出品者全員が作品を展示していることです。出品増会場壁面の都合で、一部展示替えとなっていることをお詫びいたします。次代を担う青少年の明るく健康的でいきいきとした作品が会場いっぱいあふれています。(家族)

ご友人、知人の皆さまお誘いあわせの上、ぜひ東京都美術館に足を運びたいです。ジュニア展関係者一同、心よりお礼申し上げます。(産経国際書会副理事長)

ジュニア展出品数の推移

年	出品数
2011	5,555
12 国際部新設	6,668
13	7,026
14	7,751
15	7,500
16	8,486

千葉県知事賞

市原市立石塚小6年 齋藤 奈央(千葉)
 この度は、千葉県知事賞を受賞する事ができて嬉しく思います。先生に教えていただき、がんばって練習して良かったです。ありがとうございました。

夢の実現
 六年 齋藤 奈央
 点画力強く伸びやかな線で書かれています。名前も本文同様、ゆつたりと力強いエネルギーを感じる作品です。(三毛秀起)

神奈川県知事賞

川崎市立玉川中3年 新井 奏音(神奈川)
 部活と勉強を両立して書道のパラレルを学ぶ事は難しいですが、先生のご指導のおかげで練習に取り組み、この賞を頂くことができました。誠に有難うございます。

前人未踏
 中三 新井 奏音
 本文と名前が一致した素晴らしい作品、行書の筆脈を考えた紙一杯に伸びやかに仕上げました。これからも書に親しんで下さい。(泉芳秋)

産経新聞社賞

青森県立弘前高2年 小野 七末(青森)
 はからずも有名な産経新聞社賞を賜り感謝申し上げます。古典の奥深さを感じ、又かつ先輩が取り組んでいた姿、今の自身の目標としての責任を重んじて取り組んでいます。

前人未踏
 君諱全宇景完敦煌效殺人也
 其先蓋周之胄武王東乾之機
 前代既商既定爾勳 曾令碑七末
 漢代隸書の代表的な作品、特徴的筆に捉え、首尾一貫し整然として流れる。不断の努力の成果が十分に発揮された力作である。(高橋照弘)

宮城県宮城第一高2年

川口 凜々(宮城)
 この度は、産経新聞社賞という素晴らしい賞を頂き光栄です。これからもこの賞に恥じぬよう、一層精進し、日本の伝統文化である書道に心を込めて書きたいと思っております。

夫求古賢之意以以夫者遠者先之必迂迴而難通後已焉可也今樂氏之趣成者其未盡乎而多劣之是使前賢
 起筆の鋭さ、横書の姿勢を保ちながら行書を生かした作品は特徴的筆に捉え、味わい深い横書の高さを思わせる。今後期待したい。(眞田泰志)

この度は、このような名誉ある賞を頂き大変嬉しく思います。ご指導下さった先生に感謝すると共に、書道の美しさ表現できるような努力をしていきたいと思います。

岐阜県立各務原高3年 林 七海(岐阜)
 この度は、産経新聞社賞という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。時間がながい中、ご指導下さった先生には感謝しております。今後努力していきたいと思っております。

大塚百蔵萬年煙宮春翠影翠泉長
 舟舟江天裏時時峴巖面起
 趙之謙七言古詩の臨書です。逆入平出法により真筆に筆を運ばせ、筆法は簡潔な、自信に満ちています。字間行間落款の布置も見事。(佐々木文雄)

聖霊高3年

沖賀 鈴音(愛知)
 この度は、産経新聞社賞という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。先生に教えていただき、がんばって練習して良かったです。ありがとうございました。

聖霊学園高3年 馬場 ころろ(埼玉)
 この度は産経新聞社賞を頂きありがとうございます。一筆一筆丁寧に書き、練習し努力が実を結び、このような素晴らしい賞がいただけることができました。嬉しく思います。

禮以節人樂以敦和書以道事詩以達意心也
 『説苑(せいえん)』(漢代、劉向撰中の詩句の一節。礼楽書詩等への鑑識(かんし)を業とする運筆で、詩意を意味(こころえ)た格調の高い気風のある作りに、好感の持てる佳品となっている。(福田由也)

産経国際書会理事長賞

埼玉県立越ヶ谷高3年 飯野 秀一(埼玉)
 この度は、このような賞をいただき光栄に思います。小一からやっていた書道は今年で十二年目になります。高校を卒業しても書道を通じていこう、これからも精進します。

始平公像
 結万(埼玉)
 始平公造像記のスケールの大きさを、方筆をよく理解し、厳しさをシャープさで表現できています。産経新聞社賞にふさわしい作品です。(伊藤春恵)

**山清氣爽九秋天黃菊紅葉滿
 泛紅千里結言寧有後群賢
 早玉根居前 未芳蜀素帖意**
 高校生とは思えない程な筆力、堅実な筆致、穏やかな調子で書かれています。ますますの御精進をお祈りしております。(田中龍彦)

神奈川県立横浜南陵高2年 中村 莉子(神奈川)
 この度は、このような名誉ある賞を頂き光栄です。美しい線を書くこと、墨の濃淡など試行錯誤しましたが、指導下さった先生のお陰で作品を仕上げることができました。

至徳照天地
 中三 田澤 宣尚
希望玉実現
 中三 田邊 涼福

産経子どもニュース

産経新聞写真ニュースでは、産経子どもニュース「育て!子どもたち」を媒介として、各種キャンペーン活動をみなさまの協力のもと全国で展開しています。教育現場や地域社会への写真ニュースの掲示を通じて、豊かで潤いのある社会の創造に貢献し、次代を担う子どもたちを、皆様と共に育てていきたいと願っています。

多彩なテーマ
 ◆学校便利 ◆動物の親子・赤ちゃん
 ◆キャンペーン紙面
 ◆ビジュアル社会科 他

◆本校/〒101-0054 東京都千代田区神田小川町1-1 TEL.03(5259)8810
 ◆大阪支社/〒564-0027 大阪府吹田市朝日町5-8 TEL.06(4860)6171
 ◆仙台支局/〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-14-18 TEL.022(261)6301
 ◆名古屋支局/〒460-0014 名古屋市中区富士見町13-19-705 TEL.052(323)6271

“個人協賛者様”も大歓迎!!

～思い出の母校にメッセージを～

産経子どもニュース「育て!子どもたち」では、キャンペーンに協賛していただける企業様はもちろんのこと、個人の皆様にも協賛を募っています。あなた様のお名前1年間、母校や、ご指定された小学校あるいは中学校に「育て!子どもたち」を寄贈いたします。

◆協賛金/1校・1年間 85,000円(税別)
 掲示用パネル・保存用ファイル付

メッセージ 提供:(ご寄贈者名)

●「育て!子どもたち」は、下記ホームページでもご覧いただけます。学習の副教材や写真ライブラリーとしてもご利用いただける内容です。

<http://www.sankeikids.com>



学校から“感謝の声”が
 続々と届いています!!